

1. 連絡協議会発足の背景

・平成 27 年 4 月より「子ども子育て支援制度」がスタートし、放課後児童クラブの実施主体が市町村と明確化され、今までの放課後児童クラブは運営主体として、市から運営の委託をうけることとなった。地域子ども子育て支援事業の一つとなったことにより、規約や規定類の整備、設備の充実、放課後児童支援員資格の取得および処遇改善、研修の機会の確保が必要となった。

しかし、今まで各児童クラブに任されてきた運営が、国・県・市の主導により行われるようになったことで
 ①必要とされる規約や規定類ができたが、様式が定められていない。②児童クラブ内や外部研修を受けなければならないようになったが、どのような研修をすれば良いのか不明。③子育ての経験はあるものの、保育・教育に関わった経験のある支援員が少なく専門的知識・経験が必要。④単日、短時間勤務者が多く、必要とされる書類や帳簿の整理が困難。

このような新制度に向けた取り組みとしての様々な課題が上げられた。規約や規定類のモデル様式を策定するとともに研修会で情報共有を図り、運営を円滑にすることを目指し、連絡協議会発足となった。

2. 宇佐市連絡協議会の活動内容

- 現在、宇佐市にある児童クラブ全 24 クラブが加盟している(4 クラブは第二クラブあり)
- 連絡協議会活動費は、新年度 4 月の登録児童数×200 円を各クラブより徴収する。
- 主な活動として、月に 1 回の役員会と研修会(年に 10 回※4 月と 8 月は無し)
- 連絡網での情報伝達 ○子育て支援課開催のイベントへの参加

令和2年度 大分県宇佐市放課後児童クラブ連絡協議会活動報告

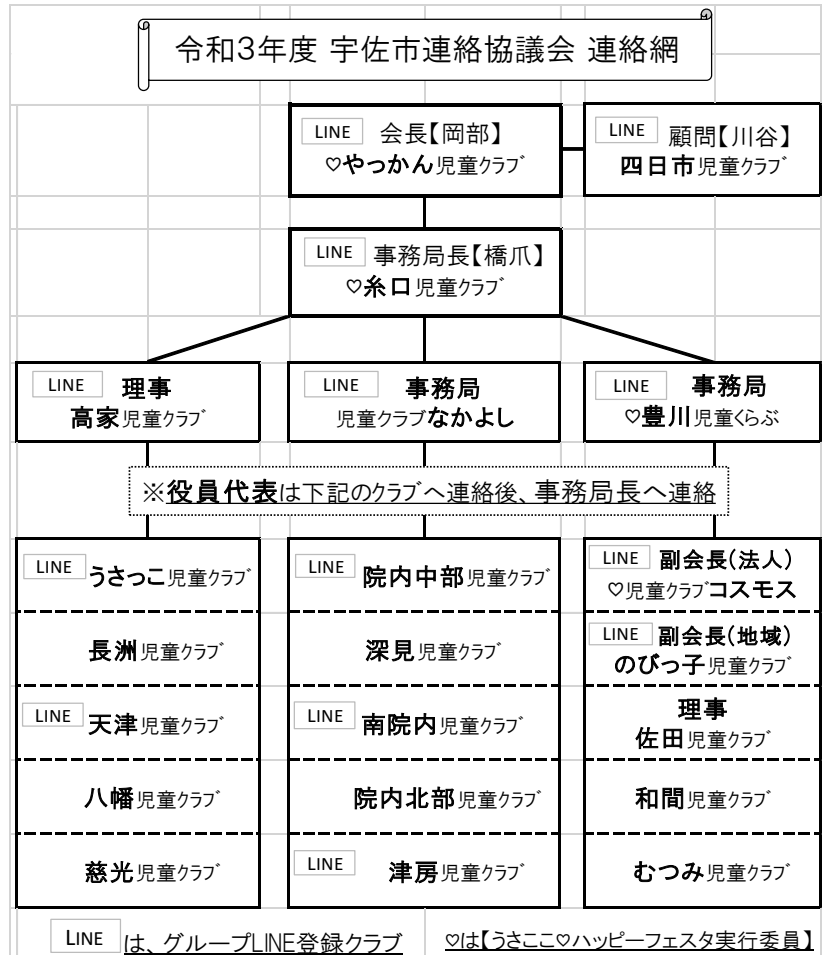
月	日	事業	開催場所
4		※コロナウイルス感染防止のため研修会中止継続中(昨年度3月より)	
5			
6	17	役員会	やっかん第1児童クラブ
7	14	研修会「総会の結果/熱中症と感染症予防対策について」	宇佐市役所
8	5	役員会	やっかん第1児童クラブ
9	2	役員会	やっかん第1児童クラブ
	14	研修会「夏休み期間の生活(過ごし方)/コロナ対応による現状と課題などの情報共有について」 ※事前にアンケートを実施	宇佐市役所2324会議室
10	7	役員会	やっかん第1児童クラブ
	12	研修会「児童クラブでのあそび～3クラブより紹介」	津房体育館

11	5	役員会	やっかん第1児童クラブ
	10	Zoom研修「コロナ禍における学童保育～日常(文化)をキーワードに」	宇佐市役所2324会議室
12	1	Zoom研修「困りのある子のクラブでの過ごし方」	宇佐市役所2324会議室
	2	役員会	やっかん第1児童クラブ
1	13	役員会	やっかん第1児童クラブ
	19	Zoom研修「放課後児童支援員の仕事を改めて考える」	宇佐市役所多目的ホール
2	3	役員会	やっかん第1児童クラブ
	16	Zoom研修「放課後児童クラブでの遊び」	宇佐市役所2324会議室
	25	臨時総会	宇佐市役所多目的ホール
3	3	役員会	宇佐市役所26会議室
	22	臨時役員会	やっかん第1児童クラブ

その他の研修では、運営委員会に必要な事項認識を図る「放課後児童クラブ運営委員長会議」、夏休み後に行う「支援員懇親会」、宇佐市のクラブに関係する「運営委員・保護者・支援員合同研修会」などの取り組みがある。(※令和元年、2年度はコロナ禍を鑑み、開催中止)

3. 連絡網の流れ

- ①連絡協議会/子育て支援課からの連絡事項
- ↓
- ②会長・顧問・事務局長で共有
- ↓
- ③事務局長が役員(3クラブ)へ電話連絡
(グループLINE・メールでも内容を送信)
- ↓
- ④役員(3クラブ)は各担当5クラブへ電話連絡
- ↓
- ⑤役員は連絡完了後、事務局長へ報告
- ↓
- ⑥事務局長は会長へ連絡完了の報告



4. 課題と取り組み

【声が上げられているクラブ運営の課題】※令和2年度9月アンケート実施

- ・児童数の減少(10クラブ)
- ・コロナ禍のクラブでの過ごし方と対応 ・支援員の確保と高齢化による未来の不安
- ・支援員の福利厚生面
- ・体調不良の子どもの隔離が不十分
- ・ネット環境などの施設整備。 ・老朽化による施設整備面。
- ・発達障害児童への支援方法
- ・運営委員会・保護者藍・総会などが中止による情報共有の希薄。

アンケート結果、1番多かった困りごとが①施設整備(設備の経年劣化、隔離が困難、立地の困りや空調の問題)について。2番目に多かったものが、②労務管理(社会保険や労働保険・手当など)が多くを占めていた。施設整備については、開設年数や地域性、立地環境の状況により対応も異なるため、各クラブの課題として取り組む。現在は「労務管理について」社会保険労務士を講師に招き、研修会で学んでいます。

【連絡協議会設立の良かった点】

- ①他クラブと情報共有できる(感染症についての対応、緊急時などの事例、あそびの紹介、横のつながりができて相談しやすく、安心につながった)
- ②連絡網の活用により、情報が早く受け取れる。
- ③全クラブの意見をまとめ、市への要望がしやすい。(要望・嘆願・請願書など)